

水稻生育速報 No.7

◎コシヒカリで退色が進んだほ場が散見される。
◎葉色を確認し、退色が著しい場合は出穂期3日前までに追肥を実施する。

【7月25日の水稻葉色データ】

品種名	区分	移植日	葉色 (SPAD)		
			今年値	指標差	7/18からの葉色差
コシヒカリ	管内平均	5月5日	32.2	0.2	-1.1

【葉色の特徴】

退色が進んだほ場が散見されており、急激に低下しているところもある。
地点別にみると指標値より葉色が淡いところが見られる。

※コシヒカリの出穂は平年並の見込み

追肥	<p>「コシヒカリ分施肥体系、基肥一発体系とも ほ場の葉色を確認しよう！」</p> <ul style="list-style-type: none">・出穂期の葉色が「SPAD値32、葉色板4.2」を下回ると予想される場合は出穂期3日前までに窒素成分で1kg/10a程度の追肥を行う。・散布の際は、湛水し肥効を高める。・減減栽培では化成肥料の窒素分量の上限量を確認し、上限量を超える場合は有機質100%肥料で施用する。
水管理	<ul style="list-style-type: none">・出穂前後5日間(計10日間)は、水を最も必要とする時期なので十分かん水する。・飽水管理を基本とし、出穂後25日間(コシヒカリは8月末頃まで)継続する。・台風等で強風・大雨が予想される場合、河川への影響を考慮し、水尻は完全に落とさず、一定の水位を保った上での排水に努める。
その他	<ul style="list-style-type: none">・8月の気温が高くカメムシの活動が活発になると予想されることから、斑点米カメムシ防除に関わる基本的な管理(除草+薬剤防除)を徹底する。 <p><除草> 雑草に穂や実をつけさせないように畦畔除草を継続する。 本田除草(ヒエ、ホタルイ)も併せて実施する。</p> <p><本田防除> 出穂期頃を中心に薬剤の登録に合わせた適期防除を行う。</p>

※暑い日が多いので、こまめに水分を補給し、休憩をとるなどして、熱中症にならないようにしましょう。

参考(7月25日:コシヒカリほ場別調査データ)

区分	調査地点	移植日	葉色(SPAD)		葉色差 7/18- 25
			本年	指標差	
分施	県・升潟(西川)	5月4日	30.0	-2.0	-4.9
分施	県・橋本(岩室)	5月16日	30.8	-1.2	-1.9
分施	JA・潟東(遠藤)	5月5日	32.0	0.0	2.0
分施	JA・黒埼(木場)	5月11日	31.8	-0.2	-1.9
分施平均		5月9日	31.2	-0.9	-1.7
一発	県・河井(巻)	5月3日	32.7	0.7	-3.3
一発	県・遠藤(潟東)	5月5日	28.7	-3.3	-5.8
一発	JA・巻(堀山)	5月12日	34.2	2.2	0.7
一発	JA・巻(馬堀)	5月2日	29.7	-2.3	-0.8
一発	JA・岩室(北野)	5月3日	29.1	-2.9	-4.0
一発	JA・岩室(原)	4月29日	32.4	0.4	-2.4
一発	JA・中之口(三ツ門下)	5月2日	29.8	-2.2	-1.9
一発	JA・中之口(針ヶ曾根)	5月6日	31.8	-0.2	-0.6
一発	JA・潟東(横戸)	5月4日	33.4	1.4	4.0
一発	JA・西川(善光寺)	5月11日	39.4	7.4	-1.0
一発	JA・西川(大関)	5月8日	35.0	3.0	-4.2
一発	JA・みらい(坂井輪)	5月1日	32.8	0.8	4.8
一発	JA・みらい(内野町)	4月29日	28.1	-3.9	-1.6
一発	JA・みらい(赤塚)	5月5日	36.0	4.0	0.2
一発	JA・みらい(中野小屋)	4月29日	34.8	2.8	2.6
一発平均		5月3日	32.5	0.5	-0.9
全体平均		5月5日	32.2	0.2	-1.1

※指標差と葉色差のマイナス(-)表示について:指標値または前回調査日(7/18)より葉色低下していることを示す。